

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 平成 29 年度 第5回守山学区まるごと活性化プランAプロジェクト会議

日時：平成 29 年 10 月9日(月・祝)午前 10 時から

場所：守山会館2階 図書室

出席者：井上代表、和田副代表、池田、竹村、小嶋、中島、山本、杉本

出席者(行政)：市民協働課 坪内課長、上田係長、三品主事、守山会館 田中館長、菅主事

使用資料：9月議会「持続可能な自治会活動の推進について」、平成 29 年度地域行政懇話会
について、自治会ハンドブック(案)、わがまちミーティング開催にかかる検討について

議題

1. 守山学区行政懇話会について
2. 自治会ハンドブックについて
3. わがまちミーティングについて

会議要旨

内容

1. 守山学区行政懇話会について

(1)9月議会の質問から

今井薫議員の質問「持続可能な自治会活動の推進について」

→守山学区の自治会魅力向上プロジェクトで取り組んでいる自治会ハンドブックについて
触れられている。

(2)守山学区行政懇話会の結果について

- 1.自治会と市の立場の明確化について、2.行政機関委嘱委員等の推薦について
 - 3.市からの依頼文書等について、4.自治会と市との関係を総括する組織の創設について
 - 5.補助金申請等について、6.募金協力について、7.仮称自治会ハンドブックについて
- の7項目について市の関係各部からの回答を共有した。

【意見】

- ・具体的な対策が知りたい思いはあるが、自治会の抱える課題を市に伝えられただけでもよい。
- ・具体的な対策については今後市との話し合いの場を作るなどして解決に取り組めたらと思う。

(裏面に続く)

決定事項

次回 平成 29 年 11 月4日(土)午前 10 時 00 分から

次回以降について

自治会ハンドブックについて、わがまちミーティングについて

会議要旨

内容

- ・まるごと活性化プランの5年間だけで解決できるような問題ではないと実感した。

2. 自治会ハンドブックについて

【意見】

- ・交通アドバイザー等は取り組み内容(概要的な部分)だけではなく、どの機関が任命しているのか記載してほしい。
- ・少年補導員と少年補導委員は兼務している旨の記載がほしい。
- ・わがまちミーティングについて、今年度実施する分の他に、前回の開催結果も掲載したい。
- ・「自治会の悩み」に挙がっている項目について、これといった対策案がないものはどうするか。
→どこかの自治会の「工夫している事例」を参考として掲載しては？
→前段に「課題と対策を列挙します」と書いてあるのを「対策が見つかっていなものもあります」等に変更しては？
- ・市の分析の結果から作成するのかプロジェクトの考えから作成するのかで見方が違うが、これはプロジェクトが作成するのだから、手作り感満載でもいいと思う。
⇒最終の目的は検討した対策を“実践”することなので、早期にハンドブックを完成できたらと思う。

3. わがまちミーティングについて

《前回の会議までの決定事項》

開催日時、場所:平成29年12月10日(日)午後から、守山会館大会議室(人数によっては変更あり)

ターゲット:まちづくりへの参加が低くなっている層、若者

選出方法:無作為抽出で1500名へ送付。参加が少ない場合は自治会の役員等に声かけを行う。

《今回の会議での検討事項》

①無作為抽出における抽出割合をどうするか。

→18～29歳:400人、30～39歳:350人、40～49歳:450人、50～59歳:220人、60歳以上:80人
合計1500人に送付することに決定。

②どのようなテーマにするか。

テーマ案:住み続けたいまちとは?～10年後の守山学区のために私たちが今からできること～

【意見】

- ・「子どもたち」という言葉を入れてはどうか。
 - ・「私たちができること」とすると、「実際にしなければいけない」という強制感が生まれにくい。
- ⇒意見を基に只友教授と協議を行い、事務局で再検討する。